

やまだ げんいちろう
 ♪ 山田 源一郎 (1870-1927)

日本で最初の私立音楽学校「音楽遊戯協会講習所」の創始者であり、日本の音楽教育の黎明期に活躍した音楽教育家。

■代表曲

「地理教育 神奈川県唱歌」「軍艦」「ウォーターロー」

■こんな人物

文部省直轄の音楽取調掛に入学し伊沢修二らに学ぶ。在学中は日本で初めて編成された弦楽四重奏団の一員としてヴァイオリン奏者を務めた。明治22年(1889)、東京音楽学校と改称した同校を主席卒業。卒業後は各地の音楽学校で教鞭を執ると共に数多の唱歌の編纂にも力を注ぎ、音楽教育の指導的地位を築いた。明治36年(1903)、唱歌研究と幼稚園教員養成を目指し「音楽遊戯協会講習所」を設立。3年後、同所を「女子音楽学校」と「日本音楽協会」(男性のための音楽学校)という学校組織に改組させ、さらに昭和2年(1927)には2校を合併して「日本音楽学校」を創立した。念願としていた男女共学の私立音楽学校を実現させたのである。

■生没年

旧曾我野藩士の家で長男として生まれる。生まれ年は明治2年(1869)説と明治3年(1870)説がある。昭和2年(1927)に病没。校長を務めていた日本音楽学校で行われた告別式で、小林愛雄作詞、小松耕輔作曲の「哀歌」が捧げられた。

♪ 参考文献

- ・『音楽教育への挑戦』日本音楽学校 2003 [760.7/120]
- ・筒石賢昭「山田源一郎研究(1) その生涯と教育的業績」(『東京学芸大学紀要 第5部門 芸術・健康・スポーツ科学』55 東京学芸大学紀要出版委員会 2003 [Z705/529])